

青葉が眩しいこの頃、皆様にはまあまあ  
ご健勝のこととお慶び申し上げます。

ちょうど一年前位、息子は復学を果にしました。  
とても天気の良いさわやかな日でした。  
水野先生、辻先生、訪問の先生方に付き  
添われ、緊張した面持ちで足どりも重く、  
しかし、しっかりランドセルを背負い登校しました。  
あの時の息子の姿は、忘れません。

思えば約2年前、小学3年生の夏休み明け  
より、息子は不登校になりました。  
幼稚園の頃より、母子依存が激しく、行き  
渋る事が何回もありました。年齢と共に無く  
なるものだと思いましたが、小学生になっても  
週明けの月曜や長い休みの後の朝は登校  
させるのが大変でした。私の中で何がいけない  
のか、どうしたらみんなと同じ様に行ける  
のか悩みました。

そして息子が不登校になり、どことなく予感はいしていましたが、それでもショックでした。

日が経つにつれ精神状態が不安定になっていく息子。夜になると眠れずに「朝が来なければいい」「学校に行けない子は悪い子だ!!」と泣いてばかりいました。そんな中、ある日の晩、「今の学校に行きたい。行きたいのに行けない!」と、また大泣きしながら言うきました。その声を聞き、この子は学校に戻りたいんだ!と確信しました。

しかし私達親だけでは学校に戻せる自信が無かったので、戻り方をネットや本などで調べました。私が子育てに自信がなかった事や息子がカウンセリングと聞くと外出できない状態だったので、家庭教育支援があり、訪問カウンセリングをして頂けるペアレンツキャンプに、主人と相談をしてお願いのある事に決めました。

支援当初は家庭教育コースで山下先生から

ご指導頂きました。家庭ノートでは常に  
先回りや指示を指摘され、今までよかれと  
思い口出しをしてきた事が、息子の自立を妨げ  
ているとは思ってもいませんでした。

その後 復学支援コースでは辻先生にご指導  
頂きました。息子が泣いて暴れた時、復学後  
に登校できなかった時、連絡を入れるとあぐに  
対応して頂き、とても心強かったです。

今までの自分の対応を変えるのは、簡単な事では  
なく、頭ではわかっても行動に物ある事は  
とても困難でした。しかし先生方からの的確な  
アドバイスを頂いたり、くじけそうになる時も  
お電話で支えて頂き、少しずつ改善していま  
しました。それと同時に何でも私に頼り、年相応  
の自立ができなくなっていた息子も変わっていき  
ました。「どうしよう？」と今でも言いまわが(笑)、自分で考え  
て答えを出ることができるようになったと思えます。  
何かあるとあぐ泣いて物に当たったりしていました。

それもなくなりました。朝も私が起こしに行かなければ起きなかつた子が、今では自分の目覚まし時計で起きてきます。登校時間になると「行きます」と学校へ向かいます。当たり前的事ですが、その事がどんなに嬉しいか…。

息子の人生はまだまだこれからです。沢山の壁が待ち受けている事でしょう。その壁を親が手助けをして乗り越えさせるのではなく、息子自身が乗り越えられるよう、今まで学んできた家庭教育を柱に、ブレない対応を心がけ、息子の成長を楽しみながら見守りたいと思います。

これまで先生方には本当にお世話になりました。感謝の気持ちでいっぱいです。寂しく感じますが、親の会などで成長した息子の話ができる事を楽しみにしています。ありがとうございました。

2018年 5月